

次期システムでの注意点

(第1.0版)

2015年 7月 1日

富士通エフ・アイ・ピー株式会社



No	更新日	版数	変更内容
1	2015/7/1	1.0	初版登録

1. 次世代通信手順
 - 1-1. ebMS手順
 - 1-2. JX手順
 - 1-3. 認証方式
2. センター処理エラー時の再送
3. WEBアップロードデータエラー時の確認方法
4. エラーメール通知
5. 旧フォーマット[V1]⇔旧フォーマット[V1]のチェック強化
6. 0件送信時の表示
7. 未通信メールボックスの移行
8. 全銀手順の伝送ブロック長
9. 配信済データの保持
10. 適用クライアント環境
11. 定期保守

次期システム稼働後、加盟企業様をご利用する際にいくつか注意していただくことがあります。

1. 次世代通信手順

次世代通信手順（ebMS手順、JX手順）ご利用時、それぞれの通信プロトコルで以下の注意点があります。

1-1. ebMS手順

(a) 証明書について

F I Pのサーバ証明書は3年に1度更新します。その際、ご利用の通信ソフトによってはサーバ証明書の再取込が必要になる場合があります。

(b) 送信データ（センター集信）について

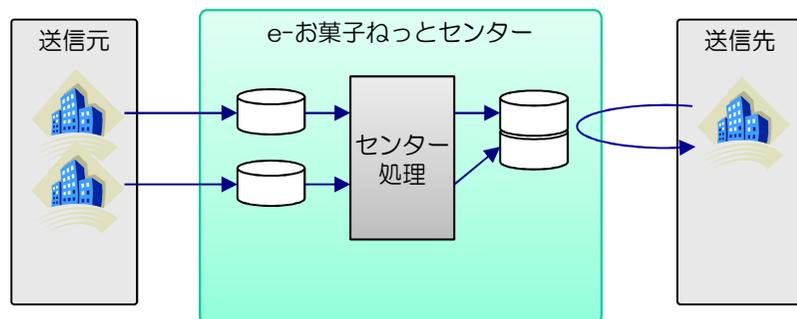
特に注意点はありません。

(c) 受信データ（センター配信）について

センター発信となります。センターでは、送信元様からデータ受信毎に送信先様へデータ送信します。センター発信による注意点は以下の通りです。

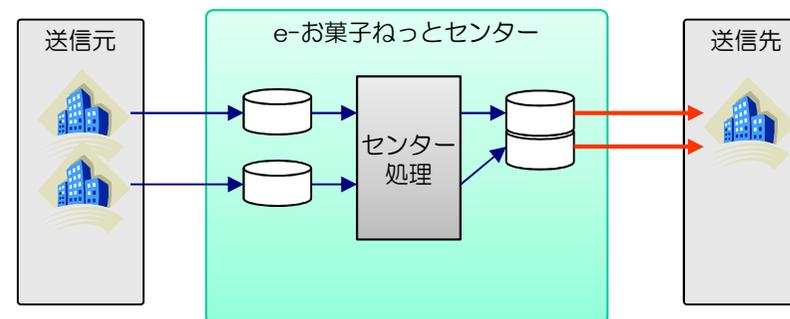
- ① 送信先様の業務スケジュールに合わせたデータ受信が出来なくなります。
- ② 送信元様のデータ送信タイミングによっては、ごく短時間に複数回データ受信することがあります。
- ③ センターサービス時間(3:30~24:30)内は、常にデータ受信が可能な環境である必要があります。

【現行手順】



- 業務スケジュールに合わせて受信可能
- 受信時は複数データを1ファイルとして受信

【ebMS手順】



- 業務スケジュールに関係なくデータ受信
- ごく短時間に複数回受信の可能性有

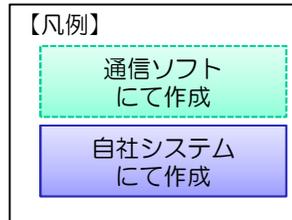
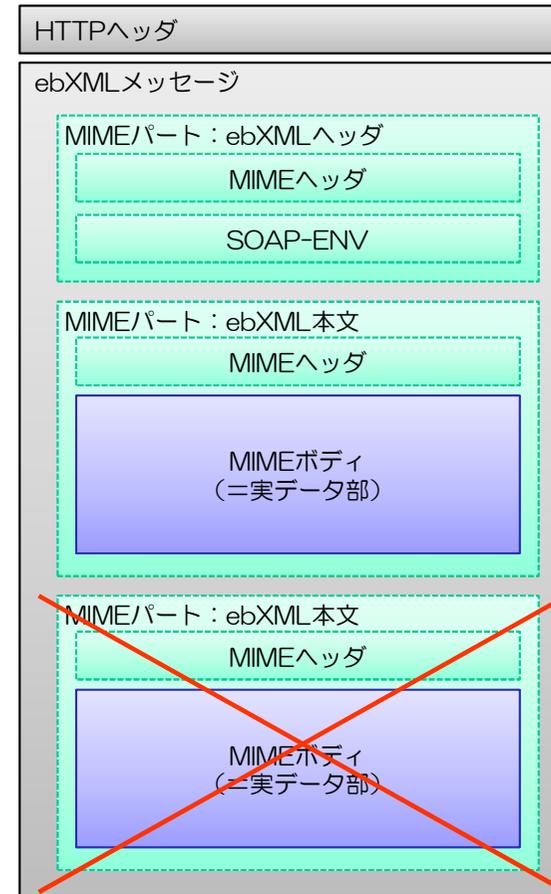
(d) データ構成について

1通信につき、ebXML本文は1つのみとなります。

【認める構成】



【認めない構成】



<サンプル (MIMEパート：ebXML本文)>

```

-----=_Part_10205_731456591.1410977592629          MIMEヘッダ
Content-Type: application/xml
Content-Transfer-Encoding: binary
Content-ID: Part1.066251695.20140918T031312.621Z@Acms1.Jvm1
~ 実データ部 ~                                     MIMEボディ
-----=_Part_10205_731456591.1410977592629--      MIMEパート境界文字列
    
```

(e) MIMEヘッダ content-typeについて

- 圧縮有り：application/zip
- 圧縮無し：application/octet-stream

1-2. JX手順

(a) 送信データ（センター集信）について

特に注意点はありません。

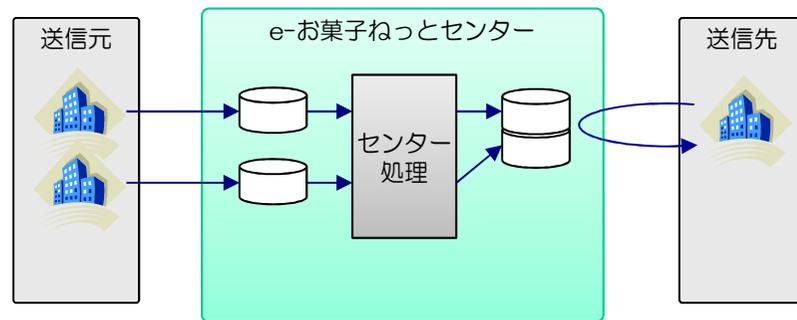
(b) 受信データ（センター配信）について

① 1回の通信で1ファイルのみの受信となります。（プロトコルの制約）

そのため、受信漏れが発生する恐れがありますのでセンターの配信データがなくなる（ファイル無しを返却*する）まで受信を繰り返す必要があります。但し、通信ソフトによっては自動対応している場合有。

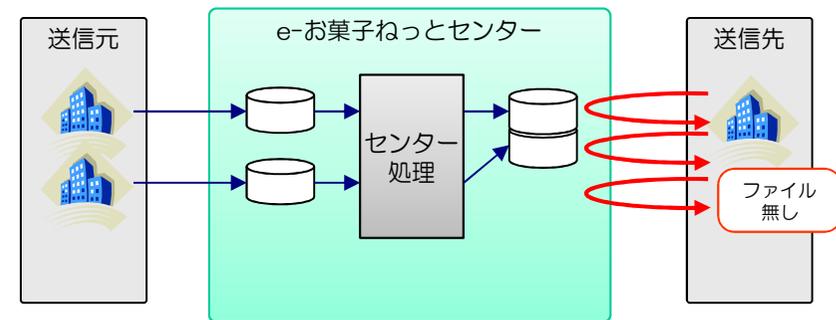
* レガシー手順では「0件正常送信」を返却していますが、JX手順では「ファイル無し送信」が返却されるため、留意願います。

【現行手順】



• 1回の通信で全配信データの受信が可能

【JX手順】



• 配信データがなくなるまで繰り返し受信が必要

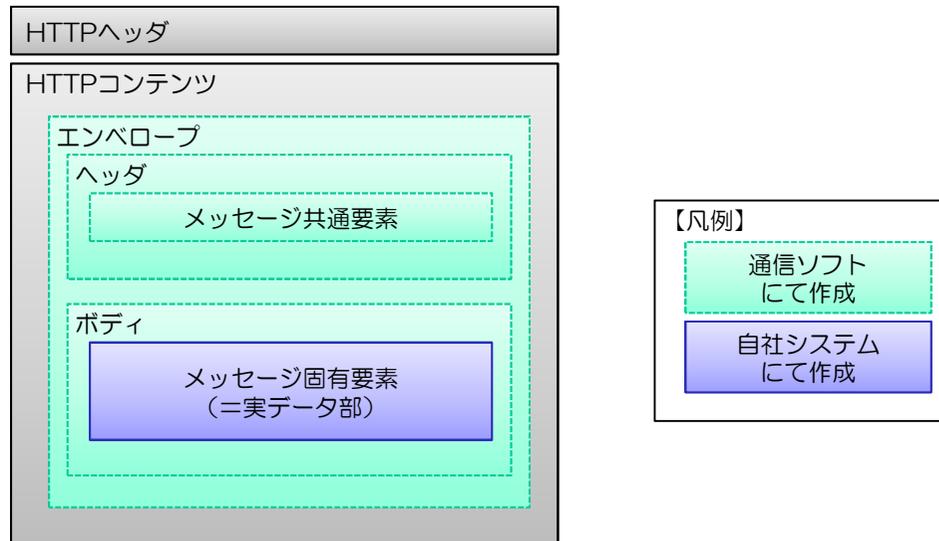
② 受信済データの再受信は出来ません。（レガシー手順では「再送要求」による再受信が可能）

(c) 圧縮形式（compressType）について

圧縮有り：application/zip

圧縮無し：指定しない

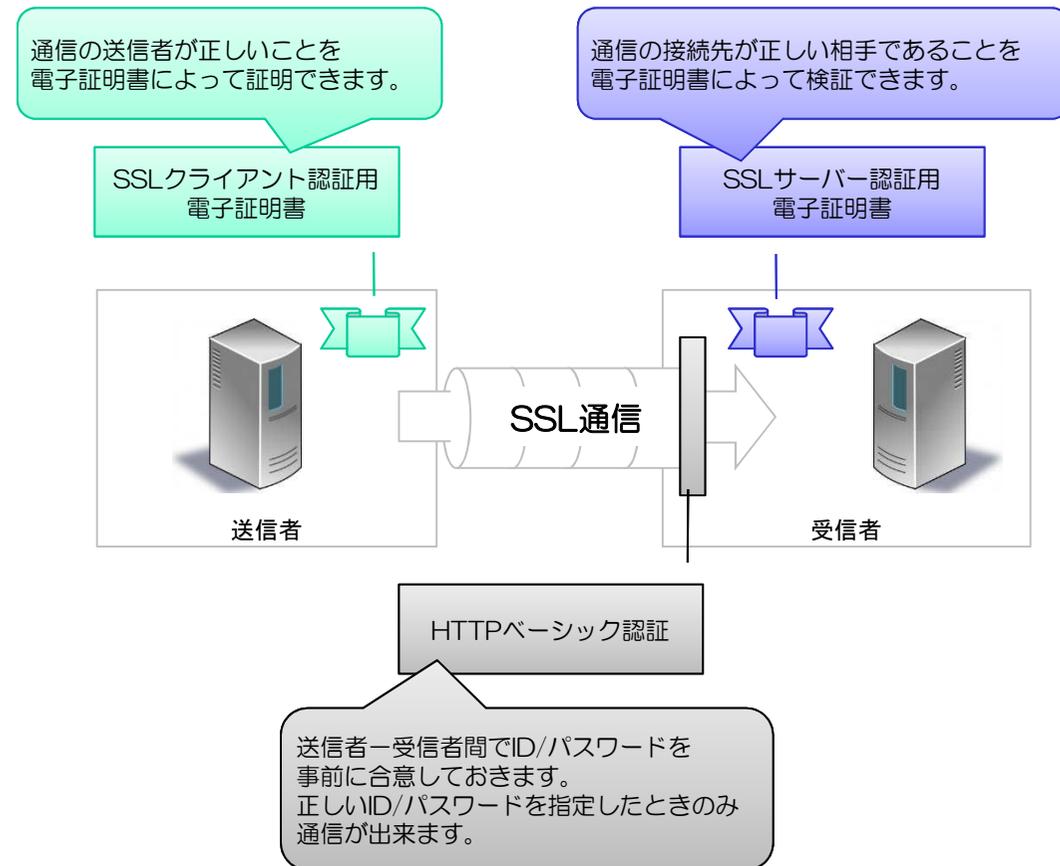
【参考】 JX手順のデータ構造について



1-3. 認証方式

次期システムとして、次世代通信の認証方式は以下を標準とします。
 (流通システム開発センター推奨に準拠)

	HTTPベーシック認証	SSLクライアント認証	SSLサーバー認証
ebXML手順		○	○
JX手順	○		○

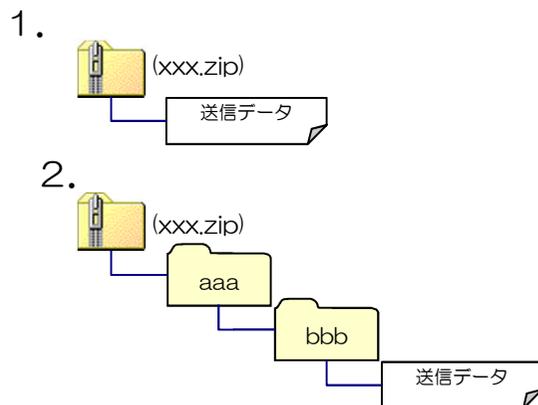


(c) 共通

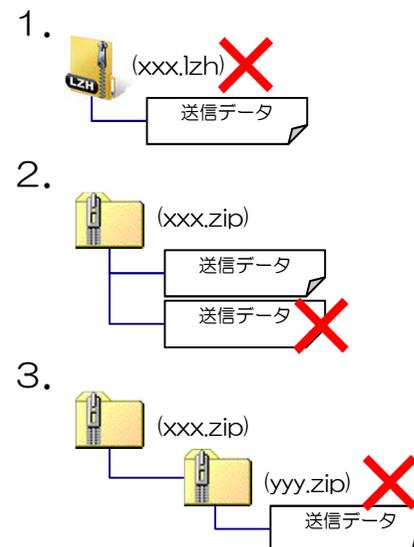
- 圧縮ファイルについて（圧縮利用の場合のみ）

- ① 圧縮形式はzip（拡張子「.zip」）のみとなります。
- ② 圧縮対象とするファイル（＝送信データ）は1ファイルのみとなります。
- ③ ファイルが格納されたフォルダの圧縮が可能です。
※ツリー化したフォルダの圧縮も可能です。
- ④ 複数回圧縮された圧縮ファイルは認められません。

【認める圧縮例】



【認めない圧縮例】



3. WEBアップロードデータエラー時の確認方法

現行システムでは、エラーはアップロードエラー照会画面のみで確認できましたが、センターでのチェック強化につき、送信先様単位にエラーが発生する場合があります。その場合、集配信状況照会画面およびセンターチェックエラー照会画面にてエラー内容を確認する必要があります。

尚、エラー照会画面ごとのエラー破棄単位は以下の通りです。

- (a) アップロードエラー照会画面 : 全件破棄
- (b) センターチェックエラー照会画面 : 送信元コード+送信先コード単位

【画面サンプル】

- (a) アップロードエラー照会画面

(例) 入力：データ種 = '02' でない場合

画面ID:1.1.1		発注データエラー照会		ユーザID:XXXXXXXX
戻る		発注データ送信画面		ユーザ名:-----+-----1-----+-----2-----+-----3
エラーメッセージNNNNNNNNNNNNNNNNNN				
メッセージNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN				
送信日時:YYYY/MM/DD HH:MM				
No.	レコード番号	卸伝票番号	品番	原因情報
9999	999,999	99999999	XXXXXXXXXXXXXXXX	NNNNNNNNNN1 NNNNNNNNNN2 NNNNNNNNNN3
1	10	010002	0004912345123450	データ種別'12'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
2	100	010003	0004912345123450	データ種別'13'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
3	200	010004	0004912345123450	データ種別'14'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
4	300	010005	0004912345123450	データ種別'15'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
5	400	010006	0004912345123450	データ種別'16'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
6	500	010007	0004912345123450	データ種別'17'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください
7	600	010008	0004912345123450	データ種別'18'が間違っています。ファイルの内容をご確認ください

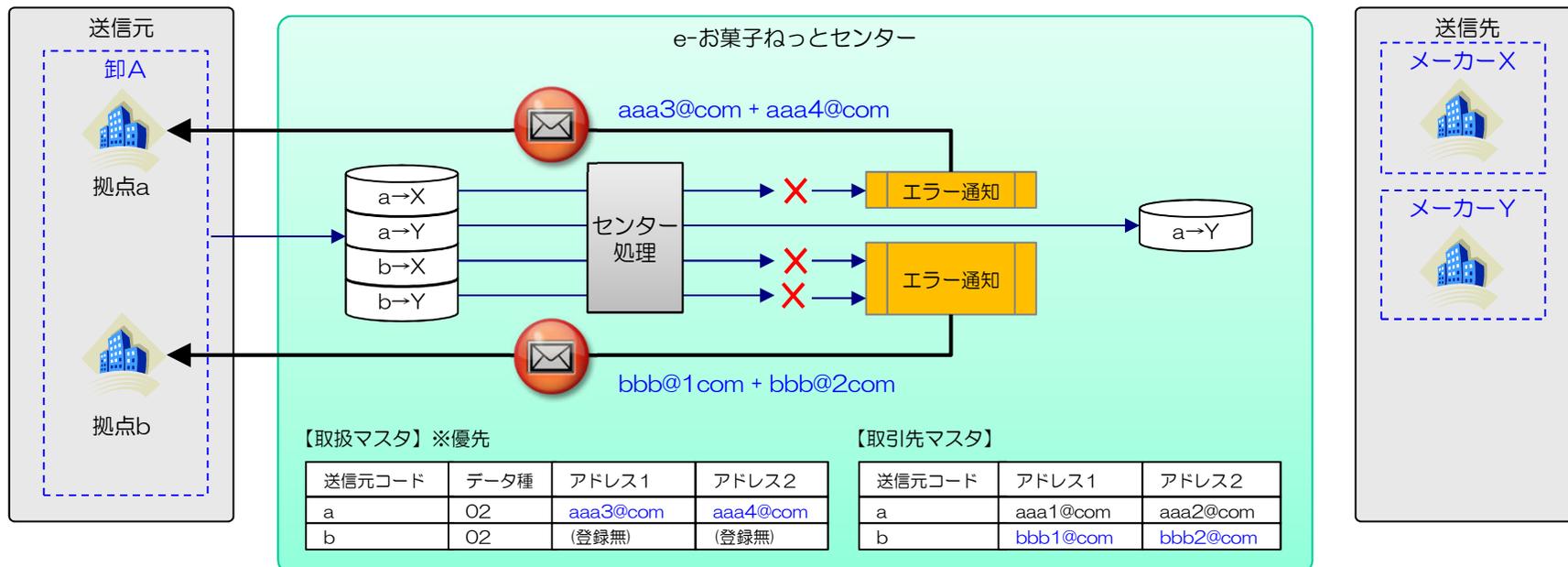
⇒ アップロード時のデータチェックエラー。全件破棄するため、再送時は全件再送が必要となります。

4. エラーメール通知

センター処理エラーが発生した場合、センターから自動でメール送信する機能を提供します。本機能の利用の際の注意点としては以下の通りです。

- ① 事前にセンターへメールアドレスの登録申請が必要となります。
- ② 取引先コード（拠点毎）または、データ種単位での指定が可能です。
 - ※ データ種単位に登録されたメールアドレスが優先されます。
- ③ 登録可能なメールアドレスは、取引先コードおよびデータ種毎に2つまでとします。
- ④ エラーメールの通知先は破棄単位により異なります。
 - ・コントロール破棄：データチェック（重症）エラー ※通常発生するエラーです
→送信データ内の「送信元コード」に登録済のメールアドレス
 - ・全体破棄：サイズチェック・構成チェックエラー等
→メールボックスに紐づく取引先コード※1 に登録済のメールアドレス
※1 メールボックス共有の場合は代表の取引先コード

【処理イメージ（02：発注）】



<メールサンプル>

題名：e-お菓子ねっとセンター通知メール【xx】 ←xxx：データ種

本文：

*** e-お菓子ねっとシステムからの自動発信メールです。 ***

センター内処理にてエラーが発生しましたので通知いたします。
詳細は以下の情報を元に、集配信状況照会にて確認してください。
尚、エラーデータはセンターで破棄しております。

送信日時：yyyy/mm/dd hh:mi:ss
送信件数：9,999件
データ種：xx

送信先コード：99999999 ※ファイルサイズチェックエラー等、送信元に依存しないエラーの場合は空白。
88888888 複数ある場合は縦に表示。

集配信状況照会はこちらから

<https://eksweb.tradefront.ne.jp/EokashiWebApplication>

※ 本電子メールにつきましては配信専用となっております。
ご返信いただきましても対応できませんので予めご了承ください。

エラーの特定に最低限必要な情報を記載。

- 送信日時
- 送信件数
- データ種
- 送信先コード

WEB画面のURLを記載。

上記内容を参考にエラーの特定、内容の確認をいただく。

次期システムに於ける注意点

5. 旧フォーマット[V1]⇔旧フォーマット[V1]のチェック強化

旧フォーマット[V1]から旧フォーマット[V1]向けのデータ交換に於いて、符号項目と対となる金額項目に対して「符号付項目*」で送信した場合、センター内で重症エラーとなります。（センター内フォーマット変換処理のため）

* 数字内に符号を持たせた数値。サイン付き項目とも呼ばれる。

例) 123 → F1F2C3(16進数)、-123 → F1F2D3(16進数)

尚、エラー発生時のデータの破棄単位や再送方法、エラーメール通知については「2. センター処理エラー時の再送」または「4. エラーメール通知」を参照願います。

センター内で重症エラーとなる金額項目は以下の通りです。

データ種	チェック項目
02:発注	伝票合計金額 二次店納入合計金額 金額・卸店入金額 金額・二次店納入金額 合計金額
11:在庫予定	伝票合計金額 金額・卸店入金額 金額・二次店納入金額 合計金額
12:受領	11：在庫予定と同じ
19:返品通知	11：在庫予定と同じ
22:出荷報告	02：発注と同じ
42:販売報告	金額 合計金額

データ種	チェック項目
33:請求	請求金額 前回請求残高 今回請求金額 請求基本控除 請求品種控除 請求機能控除 請求控除その他 請求消費税 請求金額合計
34:支払	33:請求と同じ + 前回支払残高 今回支払金額 支払基本控除 支払品種控除 支払機能控除 支払控除その他 支払消費税 支払合計金額

データ種	チェック項目
51:販促金 支払案内	請求計上金額 支払計上金額 請求金額合計 支払金額合計 支払消費税額合計
52:販促金 請求	請求計上金額 請求金額合計

6. 0件送信時の表示

センターに0件ファイルを送信した場合も集配信状況照会画面に送信結果が表示されるようになります。

画面ID:3.7 **集配信状況照会** ユーザID:kss00001
 ユーザ名:センター運用者

戻る トップ画面

検索 自取引先コード 91211110 グループ表示 デフォルト値変更
 データ種 02:発注 状態 全て 種別 全て わり付 FAX WEB

格納日時 20150519 暦 0000 から 20150519 暦 2359 まで (YYYYMMDD)(hhmm)
 送受信開始日時 暦 から まで (YYYYMMDD)(hhmm)
 相手取引先コード

4件ありました。

02:発注

一覧ダウンロード センター処理結果照会 データダウンロード データ再セット 状態説明
 中止 発呼失敗再処理 代替FAX配信

選択	NO	送信元 NO	状態	格納情報		通信ID	件数	送受信情報			取引先	取引先名	種別▲
				日付	時刻			日付	開始	終了			
<input type="radio"/>	3		送信済				0	2015/05/19	10:21:03	10:21:03	91211110	卸E/IBS J I S (B) /共:無/送受	全銀B
<input type="radio"/>	4		送信済				0	2015/05/19	10:58:41	10:58:41	91211110	卸E/IBS J I S (B) /共:無/送受	全銀B

無印:送信先 C:直接送信先 H/A:配信分割先

7. 未通信メールボックスの移行

次期システム稼働時、過去1年間通信実績のないメールボックス(通信定義)は移行対象外とします。
 また、旧データ種(発注：O1等)は通信実績の有無に関わらず移行対象外とします。
 ※全ご利用企業様へ移行対象のメールボックスについてご案内済(郵送)です。

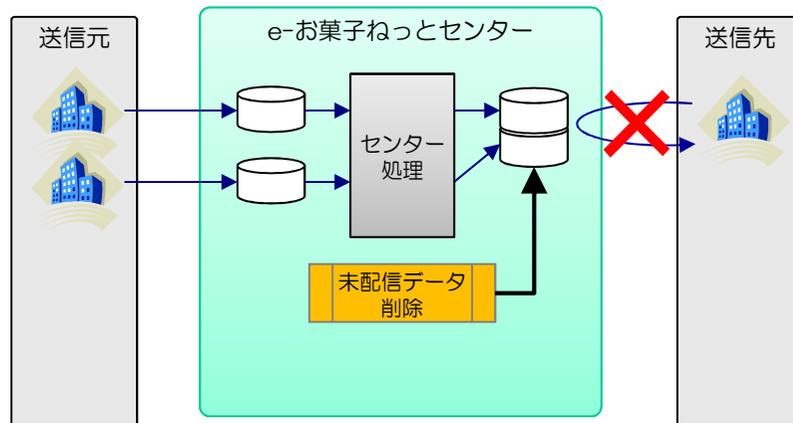
通信実績 有無	集信/ 配信	未配信データ 有無	次期システムへの移行	
			通信定義	未配信データ
有	集信	—	○	—
	配信	有	○	○
		無	○	—
無	集信	—	×	—
	配信	有	×	×
		無	×	—

【凡例】
 ○：移行対象
 ×：移行対象外
 —：対象外

移行データの集配信状況照会画面の表示について
 EDI：表示されません
 WEB：表示されます

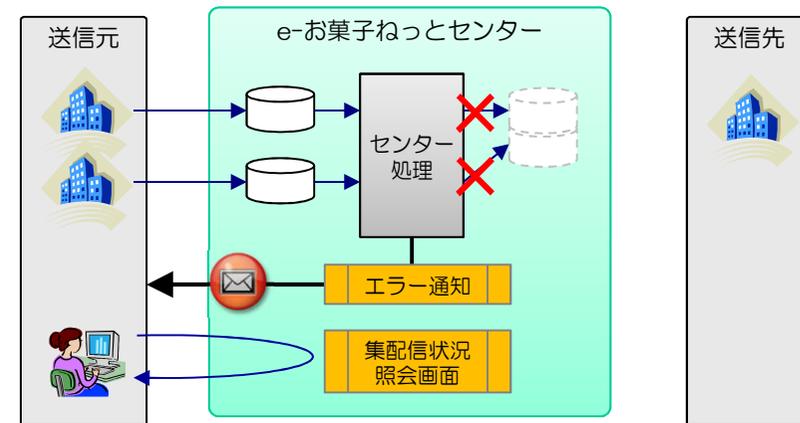
次期システム稼働後は、移行対象外となったメールボックスの取引先に対してセンターで受信した場合、振分エラー(データ破棄)となります。その場合、エラーメールの通知、または集配信状況照会画面で確認が可能です。

【現行システム】



• 正常に送信先へデータ格納
 ※14日後、センターで未配信データを削除

【次期システム稼働後】



• センターで振分エラー
 →エラーメール通知(アドレス登録時のみ)
 or
 集配信状況照会画面での確認

次期システムに於ける注意点



自社がどのデータ種を利用しているかは、「取扱データ一覧」画面より確認が可能です。

画面ID:x.8.2.2 取扱データ一覧

戻る 取引先照会画面 ユーザID: XXXXXXXX
ユーザ名: -----+-----1-----+-----

エラーメッセージNNNNNNNNNNNNNNNN
メッセージNNNNNNNNNNNNNNNN

UN一覧

取引先コード XXXXXXXX 取引先社名 NNNNNNNNN1 NNNNNNNNN2 NNNNNNNNN3

	予約 状況	予約適用日	取扱 有無	データ種別名	送受信 区分	種別	文字コード 区分	エラー通知		取扱開始日	取扱停止日
								1	2		
詳細	NN	YYYY/MM/DD	N	XX:NNNNNNNN	NN	NNNNNN	XXXXXXX			YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD
詳細	追加	2014/06/01		03:発注	送信	J×	2:JIS			2014/06/01	
詳細	削除	2014/06/01	■	13:入庫予定	受信	全銀T	2:JIS	■	□	2011/01/01	2014/06/01
詳細	切迫	2013/12/21		14:受領	送信	e b×ML	2:JIS	□		2013/12/21	
詳細				:							
詳細	変更	2013/08/10	■	43:店出し	送信	全銀T	3:JEF 4:IBM	■	□	2011/04/01 2013/08/10	
詳細				02:発注							
詳細				11:入庫予定							
詳細	切削	2013/12/21	■	12:受領	送信	全銀B	2:JIS			2011/04/01	2013/12/21
詳細				:							
詳細				67:取引先照会結果							

8. 全銀手順の最大伝送ブロック長

全銀手順上、一度に送受信可能なテキストシーケンス数(≒伝送ブロック数)に上限(65,535)があり、全銀TCP/IP手順での新フォーマット[V2]利用時には、最大伝送ブロック長を19,200byteに設定する必要があります。自社通信ソフトが当設定が可能か確認してください。

また、旧/新および通信手順毎の上限送受信件数は以下の通りです。

旧/新	通信手順	レコード長	最大伝送ブロック長	上限送受信件数(赤字)		備考	
				手順制約 (送信ファイル単位) *1	センター チェック *2		手順制約 (未受信ファイル合算) *1
旧	JCA	256	-	999,999	500,000	999,999	
	全銀BSC、 P、TCP/IP	256	2,048	458,745	500,000	458,745	
	ebXML	256	-	-	500,000	-	手順上の上限件数なし
	JX	256	-	-	500,000	-	
新	全銀TCP/IP	1,200	19,200	983,025	500,000	983,025	全銀拡張Z手順対応 最大伝送ブロック長19,200byteが 設定可能な通信ソフトのみ
			4,096	196,605	500,000	196,605	伝送可能なレコード件数が著しく小さく、 業務特性上、適用不可と判断
			2,048	65,535	500,000	65,535	
	ebXML	1,200	-	-	500,000	-	手順上の上限件数なし
	JX	1,200	-	-	500,000	-	

- *1 上限値を超えた場合、通信エラーとなります。
エラーを検知した場合は以下の対応をお願いします。
送信：送信ファイルを分割の上、再送をお願いします。
受信：センターにご連絡ください。個別対応させていただきます。
- *2 上限値を超えた場合、センターで全件破棄となります。
エラーは集配信状況照会画面、またはエラー通知メールにより確認できます。
エラーを検知した場合は以下の対応をお願いします。
送信：送信ファイルを分割の上、再送をお願いします。
受信：センターチェックは行いません。

次期システムに於ける注意点

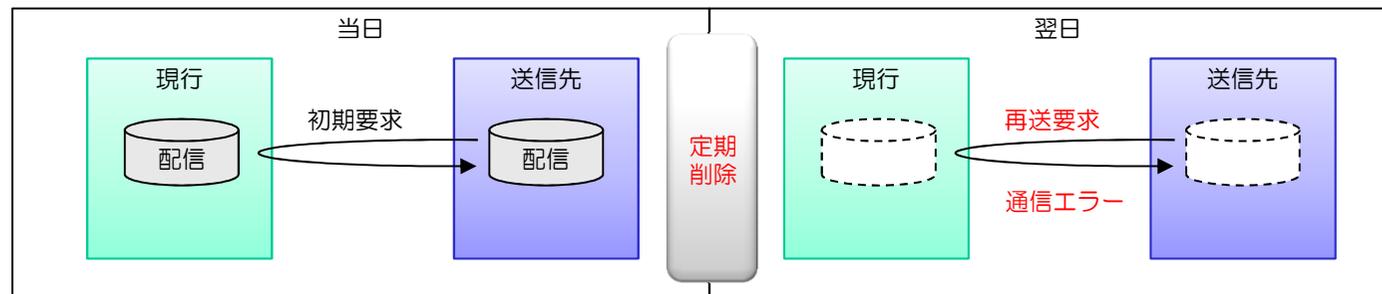
9. 配信済データの保持

次期システムでは、JCA/全銀手順に於ける再送要求(※1)の挙動が現行システムと異なります。

※1 前回受信分を再受信する電文

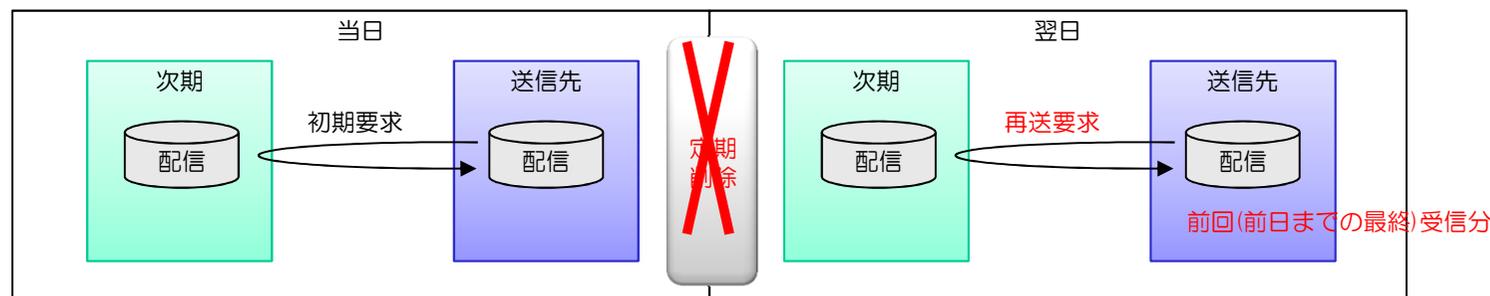
現行システムでは、夜間処理で当日の配信済データを削除しております。

そのため、翌日データセットが無い状態で再送要求した場合はファイル無し(エラー)を返却しています。



次期システムでは、追加した運用機能(※2)の利用のため、配信済データを保持する必要があります。配信済データを保持した場合、翌日データセットが無い状態で再送要求した場合は前日までの最終受信分が再受信されるようになります。

※2 データ再セットおよびダウンロード機能



次期システムに於ける注意点

1.0. 適用クライアント環境

- windows7以降をサポート対象とする。
 - windows xp sp2以前 : WEB画面に接続不可
 - ※2016年末、windowsにおけるSHA-1証明書サイトへのSSL通信が不可。
 - 次期システムではSHA-2証明書を搭載予定であり、xp sp2以前はSHA-1でのSSL通信のみのため、接続不可となる。
 - windows xp sp3 : WEB画面に接続可だが、サポート対象外
- 適用ブラウザは、InternetExplorer 9~11とする。
- ブラウザの画面サイズは「1280×1024」とする。
 - 1280×1024未満の場合、横スクロールが発生する場合有

1.1. 定期保守

サービスの安定稼働・向上のため、以下の内容で定期保守の実施を予定しています。
 ※詳細な日程については、e-お菓子ねっとホームページで公開予定です。

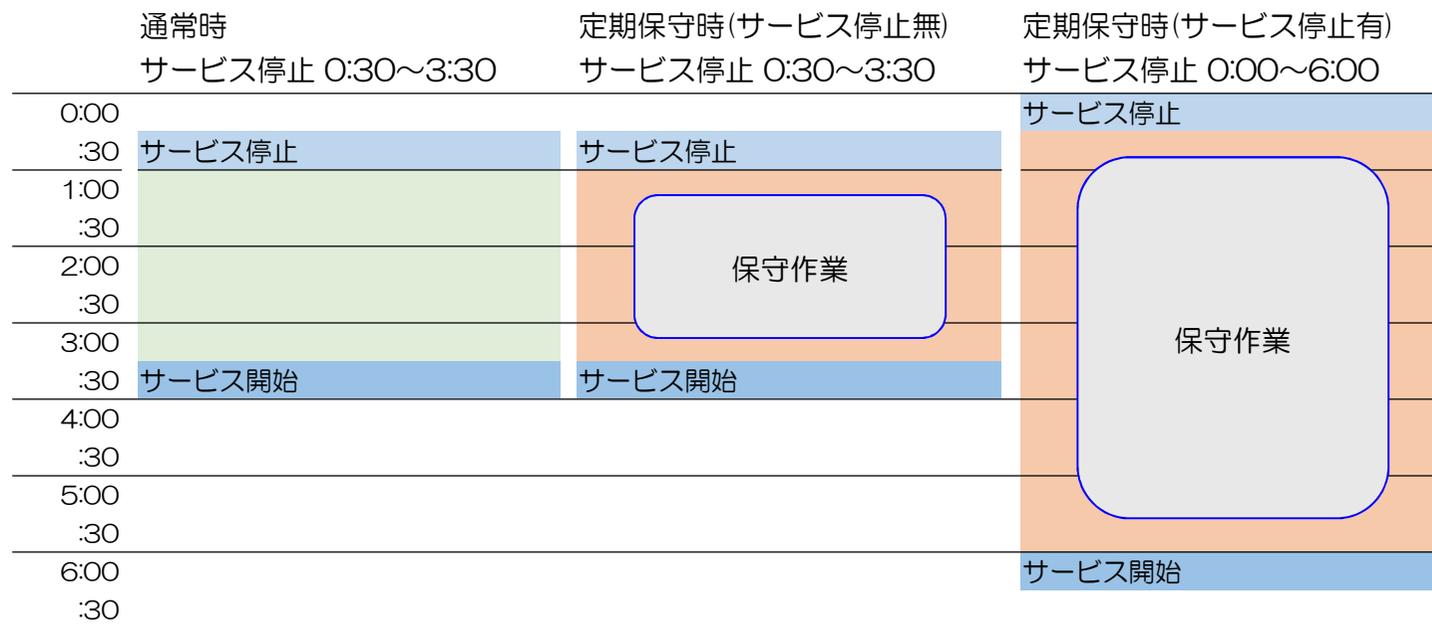
【サービス停止を伴わない保守】

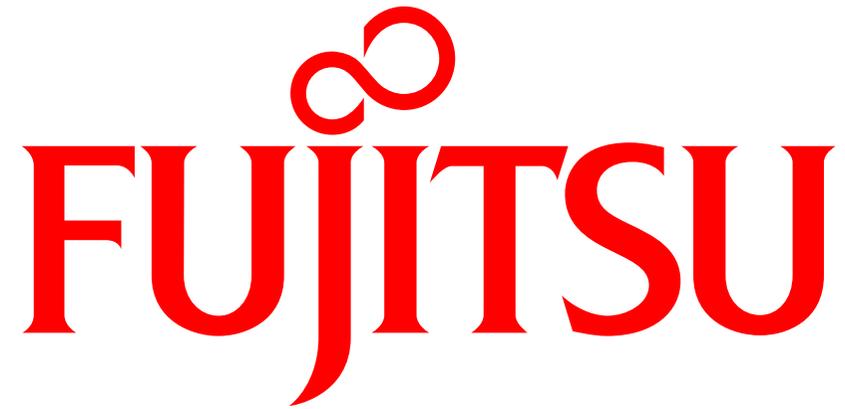
3回/年 保守時間：00:30～03:30

【サービス停止を伴う保守】

1回/年 保守時間：00:00～06:00

サービス停止中は、WEB2008画面に接続不可、EDI通信は通信エラーとなります。





shaping tomorrow with you